

## 646 經濟同攻会

〔『法学新報』第31卷6(354)号 大正10年6月1日〕

○經濟同攻会 大正七年九月新学期經濟科入学生を以て組織せる同会は同年十一月十六日創立以來毎年数回總會を開き研究発表又は懇親会等を開催し和衷協同好く經濟科の統一を図れり而して去る三月二十一日卒業紀念の爲め總會を開催し恩師の謝恩会を催せしか当日は法学博士馬場鏊一、教授稻田周之助両先生の御來臨を辱うし会員は各自前途に対する理想と抱負とを披瀝して協同一致目的の貫徹を期すれば両先生には又極めて有益なる御講話ありて会員の前途を祝福せられたり聽て「テーブル、スピーチ」に移るや高橋巖君の発言に依りて馬場先生を本会顧問に推戴するの動議あり満場異議なく賛成せるを以て直ちに先生の御意を伺ひしに早速御快諾下され将来とも本会を隆盛なら

しむる為め御指導下さるとの御言葉あり満場拍手歓喜の裏に本  
会を閉ちたるか師弟の情言外に溢れ午後七時の鐘の音に一層の  
厳肅を覚えたり因に会員百二十余名幹事に猪野毛清、林覺郎、  
渡邊庸之助、根本源一、越村重雄、小菅豊次郎、柴田武の諸氏  
重任、事務所は当分中央大学内に置くも御用の方は東京市深川  
区福住町二渋沢倉庫会社内根本源一氏宛御問合せ下され度しと  
(魏堂生報)